

No.2552

美方高原スノーシューツアー

日時： 3月18日(土)～19(日) 晴れ
参加： 右田(L)、鳴原、岡本、小俣(記)

氷ノ山・鉢伏山の北西斜面に広がる美方高原に宿をとり、稜線の高丸山の鞍部を目指すルートで登る。昨年の骨折から本格的山に初挑戦となる。宿に泊まり、のんびり登山とうかがい挑戦してみることにする。結果は、ついて行くのがやっとで少々バテました。

18日(土) 午後出発、今日は目的地までのドライブのみ。高速を降りると国道9号線で山陰を目指す。ハチ高原への道を見送り482号線で左折、どんどん高度を上げていく。途中ミカタスノーパークを横切り「雪はしっかりあるね!」と確認。なかなか高度感のある道を九十九折で登っていくと、行き止まりが「尼崎市立美方高原自然の家」であった。高度の半分以上をかせいだ所(730m)に建つ、見晴らしの良い宿泊地である。「これだけ自動車で登れば明日は助かる!!」(小俣)とひそかに安心。キャンプ場もあり自然の家は林間学校にぴったりな立派な建物、プラネタリウムも備えています。広い中に我々1組だけでは寒さが募ってしまいます。広々とした食堂の一角でカニ鍋を楽しみ、「水・ジュース」と言って「酒・ワイン」を飲んでる面々・・・楽しい夜が更けていきました。片山様、差入れのお酒サッラと美味しい味わいでした。ごちそう様でした。



(美方高原自然の家全景)

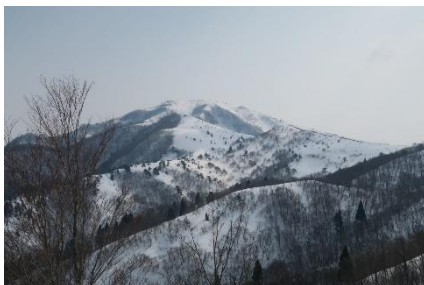
19日(日) 自然の家の裏の雪に埋もれたキャンプ場を横切り林道沿いにスノーシューを滑らせる。山腹を巻くようについた林道を辿りどんどん西へ、少しショートカットして高度をかせいで尾根に乗る。展望が



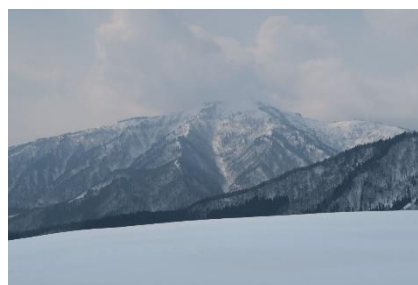
(スタート)



(山腹を横切る)



(尾根から見た鉢伏山)



(高丸山山頂から氷ノ山)

開ける。尾根を南東へ主稜線を目指して進む。緩やかに高度が増し漸く高丸山の鞍部・小代越に出る。稜線を北西に向かい高丸山頂上(1070.2m)へ、記念撮

影。

「鉢伏山はスキー場で人だらけで楽しくないね」(鳴原さん)ということで、折り返して氷ノ山へ向かう。行けるところまで行って引き返すとのこと。「今の体力で氷ノ山はとても無理」と思ったので一安心。1171標高点あたりまでは何とかついて行けたが、雪がだんだん重くなりス



ノーシューの裏が団子になってくると、力のある男性陣について行くのが苦しくなってくる。

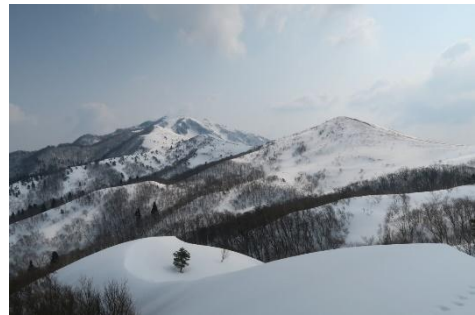
1264 標高点への登りでは遂にバテバテ、登り切ったところで「ここで待っている」と伝える。しばし休憩していると3人が戻ってきた。10分くらい先に避難小屋がありそこから引き返してきたとのこと。ここで、大休止。下山にかかる。小代越

手前の 1048 ピークから派生する尾根へ左折、登ってきた尾根へ戻る。

(太平頭避難小屋)

(大休止)

このまま尾根をたどると林道に着くが遠回りになるので何とかショートカットできないかということになり、尾根の途中から自然の家の方向に向かって伸びている枝尾根を下ることにする。どんどん下っていくと谷型地形に入り込んでしまい滝に行き当たってしまう。これはダメだと左の枝尾根へ登り上げ、再び下り始めるも下部の急斜面に突入。このまま尾根を下降するより左斜面を下った方が安全となり、ノーシューを外してツボ足になり鳴原さんのリードで下る。降りると林道へ出た!! 行きにつけたトレースに出会った! あとは来た道を引き返すのみ。



(この尾根を下る)

ちょっと冒険のある山行でした。皆様の足を引っ張る感じになってしまいましたが、今シーズン初めての雪山を楽しませて頂きありがとうございました。リハビリ登山にもかかわらず、快く参加をOKして下さったリーダーに感謝です。